

資料編

- ・ 定山溪観光魅力アップ構想の実施主体及び展開スケジュール
- ・ 策定経過

定山溪観光魅力アップ構想の実施主体及び展開スケジュール

基本方針・主な取組	実施主体	短期的な取組	中長期的な取組
基本方針1 温泉街らしさにぎわいづくり			
①温泉施設や観光スポットなどの環境整備			
○温泉を楽しめる施設などの改修や温泉情緒を感じさせる演出			
・足湯、定山源泉公園などの改修	観)観光企画課、定山溪観光協会	適切な施設維持管理・修繕、基本計画における検討	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
・安全・安心で美しい環境を保つための温泉施設の整備・改修	観)観光企画課、ホテル・旅館、その他事業者	適切な施設維持管理・修繕、基本計画における検討	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
・温泉情緒を感じさせるような湯けむりなどの演出	観)観光企画課、定山溪観光協会	基本計画策定における検討	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
○定山溪の顔となる新たな拠点の創出			
・スポーツ公園にある駐車場を活用した集客交流拠点施設の整備	観)観光企画課、定山溪観光協会	施設機能の検討	設計 施設整備
○散策路の再整備			
・散策路の再整備	観)観光企画課	適切な施設維持管理・修繕、基本計画における検討	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
○集客交流施設を核とする各種施設整備に向けた基本計画策定			
・集客交流拠点施設を核とする各種施設整備に向けた基本計画策定	観)観光企画課、定山溪観光協会	基本計画の検討・策定	
○サインの整備・改修			
・サインの改修・修繕(老朽化、多言語対応など)	観)観光企画課、ホテル・旅館、その他事業者	適切な施設維持管理・修繕、基本計画における検討	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
・歴史や自然などの案内サインや散策路の誘導サインの整備	定山溪観光協会	適切な施設維持管理・修繕、基本計画における検討	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
・温泉街入口のゲート機能の創出	観)観光企画課、定山溪観光協会	適切な施設維持管理・修繕、基本計画における検討	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
②美しい都市型温泉地としての景観形成			
○良好な街並みやにぎわいを感じる活動などにより景観的な魅力を高めるガイドラインの策定			
・良好な街並みやにぎわいを感じる活動などにより景観的な魅力を高めるガイドラインの策定	市)地域計画課、観)観光企画課、定山溪観光協会、地域住民	景観ガイドラインの検討	効果的な運用
○景観形成のための取組			
・国道230号における電線の地中化の検討	北海道開発局	検討	(国道幅に合わせた整備)
・温泉街における「和」の雰囲気づくり	定山溪観光協会、ホテル・旅館	実証実験	基本計画、景観ガイドラインに基づく再整備
・沿道への植栽	定山溪観光協会、ホテル・旅館、地域住民	取組の展開	
・温泉街の清掃・草刈・除雪による街並みの整備	定山溪観光協会、ホテル・旅館、地域住民	取組の充実、課題の検討	課題解決に向けたさらなる方策実施
③温泉街におけるにぎわいの創出			
○各ホテルを気軽に立ち寄ってもらうための仕掛け			
・各ホテルの一角を活用したマルシェの開催	定山溪観光協会、ホテル・旅館	実証実験	検証を踏まえた取組の充実
・ホテルの土産店やトイレを誰でも気軽に利用できる工夫・発信	定山溪観光協会、ホテル・旅館	実証実験	検証を踏まえた取組の充実
○温泉街を歩いてもらうための仕掛け			
・空き店舗・空き地などの活用や店舗の誘致促進	観)観光企画課、定山溪観光協会	実証実験、制度の検討	検証を踏まえた取組の充実
・周遊を促すための定山溪がらみ手形のさらなる活用や充実	定山溪観光協会	取組の充実	
・まち歩きガイドツアーなどのメニュー強化	定山溪観光協会	取組の充実	
・ライトアップや食の集客などによる夜の魅力向上	観)観光企画課、定山溪観光協会	実証実験	検証を踏まえた取組の充実

基本方針2 広域的なネットワーク化による新たな魅力創出			
①新しい魅力エリアの形成			
・バン屋やカフェなどの食の魅力スポットの観光資源としての活用	定山溪観光協会、その他事業者	活用の促進	
・三笠緑地周辺での雪を活用した滞在メニュー作りなどの魅力創出	観)観光企画課、定山溪観光協会、その他事業者	観光資源の発掘やイベントの創出	既存の観光資源と周辺地域を含めたまちづくり
②温泉街をハブ(拠点)とした周辺観光資源との回遊性向上			
・周辺観光資源と連携したターゲットに応じた体験観光プランづくり	定山溪観光協会、ホテル・旅館	ネットワークの構築及び体験観光プランづくり	プランの拡充及び内容の充実
・アクティビティなどの周辺観光資源の情報集約と情報発信	定山溪観光協会	周辺観光資源との連携強化、情報発信の充実	
・周辺観光資源を巡る周遊バスやレンタサイクルの検討	観)観光企画課、定山溪観光協会、その他事業者	実証実験	検証を踏まえた取組の充実
・「札幌シーニックハイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」の取組と連携した南区全体の観光魅力アップ	南)地域振興課、観)観光企画課、定山溪観光協会	取組の充実	

定山溪観光魅力アップ構想の実施主体及び展開スケジュール

基本方針・主な取組	実施主体	短期的な取組	中長期的な取組
③定山溪エリアまでの交通アクセスの魅力向上			
・直行バス「かっぱライナー」の充実	定山溪観光協会、その他事業者	利用実態を踏まえた充実	
・ガイドや歴史・食などの仕掛けによる定山溪までの移動の魅力向上	観)観光企画課、定山溪観光協会	実証実験	検証を踏まえた取組の充実
・真駒内駅前地区のまちづくりに合わせた交通アクセスの魅力向上の検討	市)地域計画課、観)観光企画課	課題整理	魅力向上に向けた検討
④年間を通した集客イベント事業の推進			
・既存の春夏秋冬の各イベントの充実	観)観光企画課、定山溪観光協会	内容などの充実	
・開湯150周年イベントやプレイベントの実施及び記念誌制作	観)観光企画課、定山溪観光協会	イベント実施及び記念誌制作	イベント実施後の連携促進
・市内大型イベントとのコラボレーション	観)観光企画課、定山溪観光協会	取組の充実	

基本方針3 魅力を伝える情報発信・インフォメーションの強化			
①第1プロセス(知名度アップ、イメージ構築)			
・首都圏や関西圏を主なターゲットとした商談会や物産会でのPR	観)観光企画課、定山溪観光協会	取組の充実	時代の変化に対応した取組
・東南アジアなど海外の有望市場への「和」のイメージを使ったプロモーション	観)観光企画課、定山溪観光協会	取組の充実	時代の変化に対応した取組
・定山溪温泉PR隊長「かっぱん」の活用	定山溪観光協会	活用の充実	
・ツール多言語化(パンフレット等)	定山溪観光協会	取組の充実	
②第2プロセス(動機づけ、決定)			
・世代や目的などのターゲットに応じた媒体等を活用した情報発信	観)観光企画課、定山溪観光協会	取組の充実	時代の変化に対応した取組
・ターゲットや利用目的別の過ごし方の提案	観)観光企画課、定山溪観光協会	取組の充実	時代の変化に対応した取組
③第3プロセス(到着後のサポート)			
・ワンストップ窓口としての観光案内所の整備と機能強化	観)観光企画課、定山溪観光協会	課題の洗い出し	集客交流拠点施設整備に合わせた機能強化
・まち歩きや体験活動の発着地としての拠点化	定山溪観光協会、その他事業者	課題の洗い出し	集客交流拠点施設整備に合わせた機能強化

基本方針4 魅力アップの担い手育成とマネジメント			
①おもてなしを支える人材育成			
・観光案内所を活用したホテル従業員への講習や研修の実施	定山溪観光協会	取組の充実	
・観光関係者が一体となった温泉街の環境美化活動の推進	定山溪観光協会、ホテル・旅館、地域住民	取組の充実	
・地域住民やホテル従業員による観光ボランティアの育成	定山溪観光協会、ホテル・旅館、地域住民	実証実験	検証を踏まえた取組の充実
②定山溪ファンやサポーターづくり			
・市内高校生や大学生などによるイベント協力の体制づくり	定山溪観光協会	取組の充実	
・市内の児童生徒、教員を対象にした体験学習の推進	観)観光企画課、定山溪観光協会	取組の充実	
・SNSなどを活用した定山溪ファンづくり	定山溪観光協会、その他事業者	活用の充実	
③エリアマネジメント機能の創出			
・定山溪観光協会の体制及び機能強化	観)観光企画課、定山溪観光協会	在り方検討	機能強化
・エリアマネジメント組織の在り方検討	観)観光企画課、定山溪観光協会、地域住民	在り方検討	エリアマネジメント機能の創出

策定経過

■策定経過

日 時	開 催 名
平成 25 年 2 月	定山溪の魅力に関するアンケート調査
平成 25 年 3 月 13 日 (水)	定山溪観光協会行事宣伝委員会 意見交換
平成 26 年 1 月 14 日 (火)	第 1 回 定山溪観光魅力アップ構想検討会議
平成 26 年 3 月 6 日 (木)	第 2 回 定山溪観光魅力アップ構想検討会議
平成 26 年 5 月 9 日 (金) 5 月 12 日 (金)	第 3 回 定山溪観光魅力アップ構想検討会議 ※検討委員の都合により、2 日間に分けて開催
平成 26 年 5 月 21 日 (水) 5 月 31 日 (土)	定山溪温泉 PR フェア in チカホ 「知って、行って、楽しむ定山溪」
平成 26 年 5 月 24 日 (土) 5 月 31 日 (土)	定山溪温泉の魅力アップに向けた 「留学生ワークショップ」
平成 26 年 6 月 19 日 (木)	第 4 回 定山溪観光魅力アップ構想検討会議
平成 26 年 8 月 5 日 (火)	第 5 回 定山溪観光魅力アップ構想検討会議
平成 26 年 9 月 16 日 (火)	第 6 回 定山溪観光魅力アップ構想検討会議

■定山溪観光魅力アップ構想検討会議の概要

○会議内容

【第 1 回】

- 日 時：平成 26 年 1 月 14 日 (火) 13:00～
場 所：定山溪まちづくりセンター集会室
議 事：定山溪の将来的なイメージについて
ポジショニングとターゲットについて
情報発信、プロモーションについて

【第2回】

日 時：平成26年3月6日（木）13:00～

場 所：定山溪まちづくりセンター集会室

議 事：定山溪の観光振興に向けた具体的なイメージについて

【第3回】

日 時：平成26年5月9日（金）13:00～【第一部】

平成26年5月12日（金）14:00～【第二部】

※検討委員の都合により、2日間に分けて開催

場 所：定山溪まちづくりセンター集会室（集合）

花もみじ館（意見交換）

議 事：まち歩きを通じた定山溪の課題と観光資源について

定山溪の観光振興の具体的なアイデアについて

【第4回】

日 時：平成26年6月19日（木）13:00～

場 所：定山溪まちづくりセンター集会室

議 事：定山溪観光魅力アップ構想（案）について

【第5回】

日 時：平成26年8月5日（火）13:00～

場 所：定山溪まちづくりセンター集会室

議 事：定山溪観光魅力アップ構想（案）について

【第6回】

日 時：平成26年9月16日（火）13:00～

場 所：ぬくもりの宿ふる川

議 事：定山溪観光魅力アップ構想（案）について



○検討委員（五十音順、敬称略）

氏 名	所 属 等
金川 浩幸	一般社団法人定山溪観光協会理事、定山溪温泉旅館組合副組合長（ホテル鹿の湯グループ常務取締役）
佐藤 郁夫	札幌大学大学院経営学研究科長・教授
布村 英俊	一般社団法人定山溪観光協会理事、定山溪温泉旅館組合副組合長（株式会社第一寶亭留常務取締役）
橋場 了吾	公募委員
長谷川 鏡子	公募委員
濱上 敏治	一般社団法人定山溪観光協会理事 （株式会社札幌リゾート開発公社代表取締役社長）
濱野 将豊	一般社団法人定山溪観光協会副会長、定山溪温泉旅館組合副組合長（株式会社ハマノホテルズ専務取締役）
古川 雅朗	一般社団法人定山溪観光協会理事 （株式会社定山溪物産館代表取締役社長）
古川 善浩	定山溪温泉旅館組合副組合長 （株式会社定山溪パークホテル常務取締役）
松田 忠徳	札幌国際大学観光学部教授
山田 秀明	一般社団法人定山溪観光協会常務理事

○オブザーバー（敬称略）

氏 名	所 属 等	出席回次
中西 博	定山溪連合町内会会長	第2回
陰元 潤一	定山溪連合町内会副会長	第5回、第6回
松井 紀男	定山溪連合町内会総務部長	第1回

■定山溪温泉 PR フェア in チカホ「知って、行って、楽しむ定山溪」

日 時：平成 26 年 5 月 21 日（水） 14：00～19：00

平成 26 年 5 月 31 日（土） 10：00～18：00

場 所：札幌駅前通地下広場

来場者：1,129 名

内 容：定山溪の魅力に関するパネル等の展示
アンケート調査の実施
シンポジウムの開催

- ・松田忠徳氏（札幌国際大学教授）
「温泉博士が語る定山溪の魅力」
- ・松橋京子氏（定山溪鶴雅リゾートスパ森の舘）
「Iran kara pte=イランカラプティからはじまるおもてなし」
- ・重松彌佐氏（日本児童文学者協会会員<作家>）
「むかしむかし定山溪鉄道が走っていたころのおはなし in チカホ」
- ・亀和田俊一氏（八剣山ワイナリー社長）
「八剣山ワイナリーと地域の魅力」
- ・次ページの「留学生ワークショップ」のプレゼンテーション



■定山溪温泉の魅力アップに向けた「留学生ワークショップ」

日 時：平成 26 年 5 月 24 日（土） 9：30～18：00

平成 26 年 5 月 31 日（土） 14：30～17：00

場 所：まち歩き 定山溪各所

意見交換 ぬくもりの宿ふる川

温泉交流会 定山溪第一寶亭留 翠山亭

プレゼンテーション 札幌駅前通地下広場

参加者：市内及び近郊の 6 大学の中国・韓国・台湾の留学生 14 名（日本人大学生 1 名を含む）

内 容：定山溪のまち歩きを通して、留学生が見る定山溪の課題や活性化に向けたアイデアなどに関するワークショップ

定山溪温泉 PR フェア in チカホにおけるプレゼンテーション



